

目次

| | | |
|--------------|---|----------|
| 第 1 章 | Autodesk インストーラ ヘルプ | 1 |
| | ユーザ インストールの概要 | 1 |
| | はじめに | 1 |
| | 推奨するシステム要件 | 2 |
| | Autodesk Inventor をインストールする | 4 |
| | インストレーション ウィザードを使用する | 6 |
| | 基本設定 | 10 |
| | 基本設定 - パーツの修正 | 11 |
| | 基本設定 - 計測単位 | 12 |
| | 任意設定 - 図面規格 | 12 |
| | 基本設定 - デスクトップ ショートカット | 13 |
| | インストールの種類 | 13 |
| | インストール パス | 14 |
| | インストール内容の変更、修正 | 15 |
| | Autodesk Inventor と一緒に提供されるビューア | 16 |
| | アクティベーション | 17 |
| | Autodesk Inventor のアクティベーション: よくある質問 (FAQ) | 17 |
| | シングルユーザ用のアクティベーション | 17 |
| | ネットワーク アクティベーション | 19 |
| | ネットワーク ライセンスを使用する利点 | 20 |

| | |
|--|-----------|
| ネットワーク インストール | 21 |
| スクリプトを使用してインストールする | 21 |
| オプションの設定 - アプリケーション オプションの設定 | 22 |
| オプションの設定 - カスタマイズ設定 | 24 |
| オプションの設定 - リボンのカスタマイズ設定 | 24 |
| 追加のファイル | 25 |
| ライセンス タイムアウト、ライセンス借用、およびネットワーク 接続 | 26 |
| ログ ファイル | 28 |
| GPO の配置 | 28 |
| Autodesk コンテンツ センター | 29 |
| コンテンツ センター | 29 |
| Autodesk Inventor コンテンツ センターをインストールする | 30 |
| インストールを再設定する | 31 |
| よくある質問 | 32 |
| プロダクト キーとシリアル番号はどこにありますか? | 32 |
| 個々の製品に対する[言語を選択]の意味は? | 32 |
| アイコン カラー テーマによって Inventor で何が変更されま すか? | 33 |
| 気が変わった場合、後で自分のアイコン カラー テーマを変更す ることはできますか | 34 |
| 製品マニュアル | 34 |
| 修復/再インストール/アンインストール: よくある質問(FAQ) | 34 |
| 機能の追加または削除: よくある質問(FAQ) | 35 |
| ツールとユーティリティ: よくある質問(FAQ) | 35 |
| スタンドアロン ライセンスとネットワーク ライセンスにはどの ような違いがありますか。 | 36 |
| ソフトウェアのネットワーク ライセンス バージョンを使用する ことにはどのような利点がありますか? | 37 |
| マイグレーション - 製品設定 | 37 |
| Service Pack: よくある質問(FAQ) | 38 |
| 情報センター: よくある質問(FAQ) | 38 |
| オンライン リソース: よくある質問(FAQ) | 39 |
| 索引 | 41 |

Autodesk インストーラヘルプ

1

ユーザ インストールの概要

はじめに

このヘルプ ファイルでは、Autodesk Inventor のインストール(スタンドアロン、またはネットワーク インストール)とオーソライズについて詳しく説明します。Autodesk Inventor では、ライセンス ソフトウェアを使用しており、製品を登録しオーソライゼーションコードを取得する必要があります。ネットワークインストールの場合は、Network License Manager が必要です。このヘルプ ファイルでは、管理者が Autodesk Inventor をサーバにコピーし、そこからクライアント コンピュータに製品をインストールする手順についても説明します。

配置とライセンスの詳細については、[ドキュメンテーション]ページにある「ネットワークとライセンス PDF ファイル」を参照してください、このページへは、インストール ウィザードの[ドキュメンテーション]リンクからアクセスします。

推奨するシステム要件

インストールを開始する前に、システムが推奨ハードウェア/ソフトウェア要件を満たしていることを確認してください。また、Autodesk Inventor 2010 のインストールと実行に必要なシステム設定が存在することを確認してください。

| 推奨 | 標準 (およそ 1,000 パーツ未満の設計) | 推奨 (およそ 1,000 パーツ以上の設計) |
|---------------|--|--|
| オペレーティング システム | 32 ビット または 64 ビットの Windows® Vista® SP1: Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate 各日本語版 Windows® XP: Professional SP2 および SP3 各日本語版 XP Professional x64 Edition SP2 各日本語版 | Windows® XP Professional x64 Edition SP2 各日本語版 Windows® Vista™ 64 ビット SP1 各日本語版 |
| プロセッサ | Intel® Pentium® 4 - 2 GHz 以上、Intel® Core™ シリーズ、AMD® Athlon™ 64、AMD® Opteron™ 以降 | または Intel® 64 実装プロセッサ 3 GHz 以上、または同等の AMD64 実装プロセッサ |
| RAM | 2 GB 以上 | 6 GB 以上 |
| グラフィックス カード | Direct 3D 10、Direct 3D 9、または OpenGL 対応 | オートデスクが推奨するグラフィックス カードのうち、CAD ワークステーション対応のグラフィックスカード |

その他の要件:

- 9 GB 空きディスク容量(インストール用)
- DVD-ROM ドライブ
- マイクロソフト社製 2 ボタンマウスまたはその互換製品(ホイール付マウスを推奨)
- 1280 x 1024 以上の画面解像度
- インターネット接続環境を推奨

- Adobe Flash Player 10。(リボン概要、コマンドロケータ、操作例表示アニメーションなど、Inventor ヘルプ システムのマルチメディア学習コンポーネント用に Adobe Flash Player 10 が必要) Adobe Flash Player をインストールしていない場合には、<http://www.adobe.com/jp/products/flashplayer/> からダウンロードできます。
- Microsoft Internet Explorer 6.0 SP2 または 7
- Microsoft Excel 2003 ～ 2007 (iPart、iFeature 等、スプレッドシートを使用する機能などで必要)

注:

- Autodesk Inventor 2010 および AutoCAD Mechanical 2010 アプリケーションではそれぞれ、32 ビット版と 64 ビット版の両方のアプリケーションが用意されています。各アプリケーションのインストールおよび使用は、対応するオペレーティングシステムでのみ可能です。また、Autodesk Vault 2010 は、32 ビットまたは 64 ビットのいずれのオペレーティングシステムでもインストールして使用できる、32 ビットのアプリケーションです。(両方これらのアプリケーションの 32 ビット版と 64 ビット版は、すべてインストールメディアでまとめて提供されます。)
- Autodesk Inventor 2010、AutoCAD Mechanical、および Autodesk Vault を 1 つのコンピュータで使用する場合は、必ず同じ言語版をインストールしてください。(日本語版 OS 上で、英語版の上記 CAD 製品と英語版の Autodesk Vault のクライアントを組み合わせることは可能ですが、英語版のオートデスク製品は、日本国内ではサポート対象外です。)
- Autodesk Inventor 2010 は、Pentium 4、AMD Athlon 64、および AMD Opteron プロセッサでサポートされている SSE2 拡張命令セットを利用できるように最適化されています。Autodesk Inventor は、SSE2 をサポートしていないコンピュータにはインストールされません。サポートされている命令セットを含む CPUID をレポートするいくつかのユーティリティが、インターネットで利用できます。
- 必要に応じて、Microsoft Windows で仮想メモリを管理できる設定にすることをお勧めします。この場合は常に、ハードディスク空き容量としてシステムメモリ(RAM)の 2 倍以上が必要です。
- 検証済みのグラフィックスカード情報については、Autodesk Inventor ハードウェアの Web サイト(英語版)を参照してください。

- OpenGL グラフィックスのハードウェア アクセラレーションは、Microsoft Windows XP Professional 専用の旧機能サポート モードでのみ利用できます。Direct 3D は、3GB 起動スイッチがオンの状態の Windows XP 32 ビット版で使用することは推奨されていません。
- Autodesk Inventor 2010 は DVD メディア(またはダウンロード版)でのみ利用できます。本バージョンより DVD-ROM メディアでの提供のみとし、ダウンロードで入手した製品を使用してインストールする場合は DVD-ROM ドライブは必要ありませんが、ハードディスクにインストールファイルを保存するための 9 GB の空き容量と、インストール時に作成される一時ファイルのための 16 GB の追加容量が必要になります。

注: 上述の要件は、Autodesk Inventor 2010 ソフトウェアを効果的に使用するための推奨要件です。詳細については、Autodesk Inventor 2010 とともにインストールされる Readme ドキュメントを参照してください。

Autodesk Inventor をインストールする

Autodesk Inventor のインストレーション ウィザードにより、ソフトウェアのインストールを、手順を追って行うことができます。ウィザードで表示されるページの指示に従い、必要に応じてオプションを選択または入力します。[戻る] ボタンを使用すると、前のページに戻って設定内容を変更できます。導入するライセンス形態によっては、製品のオーソライズを求められることがあります。製品のオーソライズを求められた場合、30 日間の体験版を選択することもできます。30 日間の体験期間後も継続して使用するためには、製品のオーソライズが必要になります。

インストレーション ウィザードでは、すべてのインストール関連の設定が 1 箇所にとまられています。インストレーション ウィザードから、ユーザ ドキュメンテーションへのアクセス、インストーラ言語の変更、言語固有の製品の選択、補助ツールのインストール、およびオンライン サポート サービスの追加を行うことができます。

- **インストールの前にインストールのドキュメンテーションを確認してください。** 製品をインストールする前に、インストールプロセス全体について知識を深めるための時間を取っていただくことをお勧めします。PDF 版のインストールとライセンス マニュアルは、製品のインストレーション ウィザードから参照できます。このマニュアルには、インストールページの左下のペイ

ンにある[ドキュメンテーション]リンクで[このドキュメンテーションを読む]を選択するか、またはヘルプシステムを使用してアクセスできます。また、製品ディスクのドキュメンテーション(docs)フォルダにアクセスしてPDF ファイルを参照することもできます。最新情報については、製品の *Readme* を参照することをお勧めします。

注: 拡張子が *.pdf* のファイルを参照または印刷するには、コンピュータに、Adobe® Reader® をインストールする必要があります。Adobe Reader をお持ちでない場合には、www.adobe.com の Web サイトから最新版をダウンロードできます。

Autodesk Inventor をインストールするには

- ▶ 表示されるインストレーションウィザードダイアログボックスの指示に従います。

トライアル版をインストールしている場合や、バンドル製品からプロダクトキーを入力した場合は、正しい Inventor 製品を選択してインストールします。どの製品を選択したらよいか分からない場合は、オートデスク認定リセラーにお問い合わせいただくか、バンドル製品のドキュメンテーションを参照してください。

次のオプションが適切でないか、存在しない場合には、[戻る]ボタンをクリックし、別のプロダクト キーを入力します。

重要: 購入済みのものとは別の Inventor 製品を選択した場合は、適正な製品を再インストールしてアクティブ化します。

インストールの修正

インストレーションウィザードでは、ソースファイルのあるドライブやプログラムのインストール先のフォルダを指定するように要求されます。ウィザードでは計測単位などの設定も要求されます。インストール中の設定のほとんどは、インストールの完了後に変更することも可能です。

図面内からのパーツの修正を可能にする設定を変更するには、次の手順に従います。

- 1 実行中のプログラムをすべて閉じます。
- 2 [スタート] ▶ [設定] ▶ [コントロールパネル]をクリックし、[プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。

- Autodesk Inventor 2010 をハイライト表示し、[変更と削除]をクリックします。

Autodesk Inventor の一部の機能には Microsoft Internet Explorer が必要です。

Autodesk Inventor のセットアップでは、Autodesk Inventor の他に、サンプルファイルと Software Developer's Kit (SDK) をインストールすることができます。

IE 6.0 が現在インストールされていない場合は、Autodesk Inventor のインストールを進める前にこれをインストールするように要求されます。セキュリティのため、および Autodesk Inventor のヘルプ ファイルとの整合を取るため、インストール後に Internet Explorer を現在のバージョンに更新します。

注: Microsoft Internet Explorer は削除しないでください。Microsoft Internet Explorer が削除されると、Autodesk Inventor は正常に動作しません。Microsoft Internet Explorer をインストールしたら、Autodesk Inventor をインストールする前にコンピュータを再起動してください。

インストレーションウィザードを使用する

インストレーションウィザードにより、セットアップ処理を対話的に実行できます。標準的なインストレーションウィザードのワークフローで表示されるウィンドウがここに示されています。どのインストールを選択したかによって、表示されるウィンドウが異なります。

注: ウィザードによる対話的な製品のインストールを行わない場合は、スクリプトによるインストール処理を使用して、自動的に Autodesk Inventor をインストールすることも可能です。詳細については、「スクリプトを使用してインストールする」を参照してください。

インストレーションウィザードのワークフロー

[インストールする製品を選択]

インストレーションウィザードで、インストール指示の言語を選択するか、既定の言語を適用し、[製品をインストール]をクリックします。

配置指示用の各言語と、製品インストール用の言語を選択することができます。

たとえば、を母言語以外の1つ以上の言語でユーザに提供する必要がある場合、サポートする必要がある言語で製品を配置するための言語パッケージを、インストーラからダウンロードすることが可能です。

次に、製品とインストールする製品の言語を選択し、[次へ]をクリックします。

注: インストール時 Autodesk Design Review 2010 は既定ではインストールされません。DWF または DWFx ファイルを表示する場合、は、[Design Review] をインストールする必要があります。

[ソフトウェア使用許諾契約書]

リスト ボックスから国を選択します。ダイアログ ボックス内に表示される使用許諾契約書の全文を必ずお読みください。使用許諾契約書に同意して、Autodesk Inventor のインストールを続行します。使用許諾契約に同意しないと、Autodesk Inventor をインストールできません。

注: 後で参照するために使用許諾契約書を印刷するには、ダイアログボックスに表示されている使用許諾契約のテキスト全体をハイライト表示して、[Ctrl]+[C] を使用してコピーし、テキスト エディタに貼り付けて印刷します。

その他の使用許諾契約書に同意する必要がある場合は、現在のページに続いてそれらのページが表示されます。

製品およびユーザの情報

シリアル番号、プロダクト キー、およびユーザ情報を入力します。プロダクト キーは、購入した製品の判定に使用されます。

製品のプロダクト キーとシリアル番号は、製品パッケージの外側に記載されているか、オンラインで製品を購入またはアップグレードされた場合は、送信された電子メールに記載されています。

部品番号は、3つの連続する数字で示されています。製品とバージョンは、最初の5桁で定義されています。これら5桁の文字はインストールによって解析され、プロダクト キーとして格納されます。最初の3桁によって製品が特定されます。4桁目と5桁目によって製品バージョンが特定されます。

注: シリアル番号やプロダクト キーを紛失した場合は、ユーザ登録センター (03-6221-1790)までご連絡ください。

選択した製品の確認

インストールするように選択した製品に関するメッセージが表示されます。[次へ]ボタンをクリックして選択内容を確定するか、[戻る]ボタンをクリックして選択内容を変更します。

トライアル版をインストールしている場合や、バンドル製品からプロダクトキーを入力した場合は、次のダイアログボックスで正しい Inventor 製品を選択してインストールします。どの製品を選択したらよいか分からない場合は、オートデスク認定リセラーにお問い合わせいただくか、バンドル製品のドキュメンテーションを参照してください。

次のオプションが適切でないか、存在しない場合には、[戻る]ボタンをクリックし、別のプロダクト キーを入力します。

重要: 購入済みのものとは別の Inventor 製品を選択した場合は、適正な製品を再インストールしてアクティブ化します。

[確認-環境設定-インストール]

リスト ボックスから製品を選択して、その製品の現在の設定を確認します。その製品の既定の設定を確認およびカスタマイズするには、[環境設定]ボタンをクリックします。

製品選択の設定が完了したら、[インストール]ボタンをクリックして、指定したアプリケーションをインストールします。

注: 次の 4 つのセクションでは、[確認-環境設定-インストール]ページで[環境設定]をクリックした場合に表示されるページについて説明します。

次の 5 つのセクションでは、[確認-環境設定-インストール]ページで[環境設定]をクリックした場合に表示されるページについて説明します。

[ライセンスの種類の選択]

所有しているライセンスのタイプを、[スタンドアロンライセンス]か[ネットワーク ライセンス]から選択します。[スタンドアロン ライセンス]を選択した場合、アプリケーションのインストールには有効なシリアル番号とプロダクト キーが必要です。ネットワーク ライセンスは、グループ ライセンス(Autodesk ライセンス管理で管理)を指します。選択するライセンスのタイプが分からない場合は、システム管理者に連絡してください。

注: スタンドアロンライセンスでインストールする場合、Autodesk Inventor を 30 日間の体験版としてインストールする、あるいはインストール処理中に Autodesk Inventor をアクティベーションするのどちらかを選択できます。30 日間の体験版としてインストールする場合、シリアル番号を入力する必要はありません。

[任意設定を選択]

アプリケーション オプションの設定を指定し、パーツの修正を有効または無効に切り替え、計測単位と図面規格の既定値を設定し、デスクトップショートカットを指定します。

コンテンツセンターのアクセスオプションの選択

標準コンテンツにデスクトップコンテンツとしてアクセスするのか、Vault サーバからアクセスするのかを指定します。

スタンドアロン ユーザの場合は、[Inventor デスクトップ コンテンツ]を選択します。コンテンツセンターのライブラリが、ユーザのローカルドライブにインストールされます。

重要: コンテンツセンターをサーバにインストールする場合は、[標準コンテンツへのアクセスを選択]ダイアログボックスで[Vault サーバ]を選択します。サーバとコンテンツセンターのライブラリを、Autodesk Vault 2010 (Server) DVD のインストーラからインストールします。

[インストールの種類を選択]

- **標準**インストールを行うと、一般的なアプリケーションフィーチャのほとんどがインストールされます。大部分のユーザには、このオプションをお勧めします。
- **カスタム**インストールでは、選択したアプリケーションフィーチャのみがインストールされます。インストールする機能を選択します。

Autodesk Inventor のインストール先を指定します。インストール先のコンピュータに 600 MB 以上の空きディスク容量と、TEMP の場所にさらに 600 MB の空きディスク容量があることを確認してください。追加製品をインストールする場合は、別途、空きディスク容量が必要です。表示されている既定値のインストール先を受け入れるには[次へ]をクリックします。別のフォルダを指定するには、[参照]をクリックして指定します。

サービスパックを含める

ローカル マシン上の Service Pack 1 のインストール場所を指定します。

注: autodesk.com に Service Pack 1 が存在するかどうか自動的にチェックされます。Service Pack 1 が使用可能な場合、リンクが表示されます。

注: 次のセクションでは、Autodesk Inventor と一緒にインストールできる追加のアプリケーションについて説明します。

AutoCAD Mechanical

AutoCAD Mechanical の詳細については、AutoCAD Mechanical のオンラインヘルプを参照してください。

Autodesk Vault

Autodesk Vault の詳細については、Vault サーバメディアのドキュメンテーション ページにある、『Autodesk Vault 2010 実装ガイド』を参照してください。

製品選択の設定が完了したら、[環境設定の完了] ボタンをクリックします。

[インストール] ボタンをクリックして、指定したアプリケーションをインストールします。

[インストールの進行状況]

指定したアプリケーションが現在インストールされています。

[インストールの完了]

この概要ページは、アプリケーションのインストールが完了すると表示され、Readme ファイルにリンクされています。推奨される Readme ファイルには既定でチェック マークが付いています。これらのオプションのチェック マークをはずすこともできます。オペレーティング システムに応じて、製品をすぐに起動するか、続行する前に再起動を実行します。

基本設定

これらのオプション設定はインストール時に指定できます。オプションによっては、インストール モード時にのみ使用可能なものや、メンテナンス モードでも

アクセス可能なものがあります。メンテナンス モードでアクセスできないオプションは、使用できないか、ダイアログ ボックスに存在しません。

- **[アプリケーションオプション設定]:** Autodesk Inventor の設計およびドキュメント環境の操作方法に影響を与えます。[既定の Autodesk Inventor の設定]または[AutoCAD 関連の設定]を指定します。メンテナンス モードでは使用できません。
- **[パーツの修正]:** 図面でのパーツの修正を有効または無効にします。図面内のモデル寸法が、対応するパーツ寸法に応じて変更されます。
- **[計測単位]:** [計測]コマンドによって使用される既定の計測単位を設定します。メンテナンス モードでは使用できません。

注: 設計ファイルでは、いつでも計測単位を変更できます。

- **[図面規格]:** 既定の図面規格(ANSI、BSI、DIN、GB、GOST、ISO、または JIS)を設定します。メンテナンス モードでは使用できません。

注: いつでも、別の図面規格を適用して図面を作成できます。

- **[デスクトップショートカット]:** デスクトップに製品ショートカットをインストールします。メンテナンス モードでは使用できません。

基本設定 - パーツの修正

このオプション設定を使用して、図面でのパーツの修正をコントロールします。このオプションを有効にすると、図面でパーツの修正ができます。

注: メンテナンス モードでは使用できません。

関連事項:

- [オプションの設定 - アプリケーション オプションの設定 \(22 ページ\)](#)
- [基本設定 - 計測単位 \(12 ページ\)](#)
- [基本設定 - デスクトップ ショートカット \(13 ページ\)](#)
- [基本設定 \(10 ページ\)](#)

基本設定 - 計測単位

このオプションでは、[計測]コマンドによって使用される既定の計測単位を設定します。

- インチ
- ミリメートル (既定)

注: メンテナンス モードでは使用できません。

関連事項:

- [オプションの設定 - アプリケーション オプションの設定 \(22 ページ\)](#)
- [基本設定 - パーツの修正 \(11 ページ\)](#)
- [基本設定 - デスクトップ ショートカット \(13 ページ\)](#)
- [基本設定 \(10 ページ\)](#)

任意設定 - 図面規格

このオプションでは、既定の図面規格を設定します。いつでも、別の図面規格を適用して図面を作成できます。使用可能な製図規格:

- ANSI
- BSI
- DIN
- GB
- GOST
- ISO
- JIS

関連事項:

- [オプションの設定 - アプリケーション オプションの設定 \(22 ページ\)](#)

- [基本設定 - パーツの修正](#) (11 ページ)
- [基本設定 - 計測単位](#) (12 ページ)
- [基本設定 - デスクトップ ショートカット](#) (13 ページ)
- [基本設定](#) (10 ページ)

基本設定 - デスクトップショートカット

スタンドアロン インストールとネットワーク インストールの両方に対して 1 つのデスクトップ ショートカットがデスクトップに追加されます。

このオプションを選択した場合、複数のタイプの Autodesk Inventor ソフトウェア (Autodesk Inventor、Autodesk Inventor Routed Systems、Autodesk Inventor Simulation、Autodesk Inventor Professional) をインストールすることの可能なネットワーク インストール場所に、1 つのデスクトップ ショートカットがインストールされます。

注: メンテナンス モードでは使用できません。

関連事項:

- [オプションの設定 - アプリケーション オプションの設定](#) (22 ページ)
- [基本設定 - パーツの修正](#) (11 ページ)
- [基本設定 - 計測単位](#) (12 ページ)
- [基本設定](#) (10 ページ)

インストールの種類

標準

Autodesk Inventor のすべてのプログラム ファイル、サンプル ファイル、およびカスタム Autodesk Inventor アプリケーションを作成するための Software Development Kit (SDK) を含む標準インストール。

カスタム

カスタム インストールは、Autodesk Inventor に対してカスタム アプリケーションを作成するために、Software Development Kit (SDK)をインストールするかどうかを選択する場合に使用します。サンプルをインストールするかどうか選択することもできます。

Autodesk Inventor によってプログラム ファイルが要求されますが、キャンセルできません。

関連事項:

- [インストール パス \(14 ページ\)](#)

インストールパス

Autodesk Inventor のインストール場所へのパスを設定できます。既定のインストール パスは C:\Program Files\Autodesk\ です。インストール時には、指定したパスに製品フォルダが追加されます。たとえば、インストールパスを C:\My Programs に変更すると、Autodesk Inventor は C:\My Programs\Inventor 2010 にインストールされます。

注: 製品フォルダの名前は変更しないでください。Autodesk Inventor が正しく動作しなくなる可能性があります。

インストール パスの長さの制限

インストール時に、インストール先ファイルのパスの表示文字数を決めるのは困難です。したがって、インストール パスの長さのエラーが発生した場合は、まず次の操作を試してみます。

- インストレーション ウィザードを終了します。
- インストールのソース ファイルをパスの短いフォルダに移動します。
- Inventor の setup.exe プログラムを再実行します。

パスの長さのエラーが引き続き発生した場合は、次の操作を試してみます。

- インストレーション ウィザードの[確認-環境設定-インストール]ページに戻ります。

- [環境設定]をクリックします。
- [インストールの種類を選択]ウィンドウで、製品のインストールパスを短くします。
- [環境設定の完了]をクリックし、インストレーションウィザードを続行します。

引き続きパスの長さのエラーが発生した場合は、オートデスクのサポート担当にお問い合わせください。

例 - 許容できるインストールパス

ソースファイルパス(84 表示文字)

¥Inventor¥Install source path¥

インストール先ファイル(89 表示文字)

¥Program Files¥Inventor¥I want to put Inventor here¥Inventor.exe

例 - 許容できないインストールパス

ソースファイルパス (127 表示文字)

¥Inventor¥Install source path¥want to install from this path although the path length may be too long¥we will find out shortly¥

インストール先ファイル (138 表示文字)

¥Program Files¥Inventor¥I want to put Inventor here as long as the file path does not exceed the operating system limitations¥Inventor.exe

関連事項:

- [インストールの種類](#) (13 ページ)

インストール内容の変更、修正

既存のインストール内容を変更または修正するには、Autodesk Inventor がインストールされたシステムで再度セットアップを実行するか、[プログラムの追加と削除]を使用してインストール オプションを変更または削除します。

[機能を追加/削除]

このオプションを選択すると、[機能の追加または削除]ダイアログボックスが表示され、オプション コンポーネントを任意に追加または削除することにより、インストールを再設定できます。

[修復または再インストール]

このオプションを選択すると、Autodesk Inventor が修復または再インストールされます。

- **[修復]:** Autodesk Inventor は既定の状態に修復され、既定の状態から変更されたすべてのファイルは元に戻されます。
- **[再インストール]:** Autodesk Inventor は再インストールされ、すべてのファイルが更新されます。

[アンインストール]

このオプションを選択すると、Autodesk Inventor がシステムからアンインストールされます。

Autodesk Inventor と一緒に提供されるビューア

次の 4 つのビューアが Autodesk Inventor と一緒に提供されます。

- **Autodesk Design Review**
この指定は任意です。元の製図ソフトウェアなしで 2D および 3D の設計を表示、印刷、計測、マーク アップ、および改訂するために使用されます。
- **DWG TrueView**
Autodesk Inventor と一緒にインストールされます。このビューアは、AutoCAD DWG ファイルおよび Inventor DWG ファイルを表示するために使用されます。
- **Autodesk Inventor View**
ネイティブの Inventor ドキュメント (IAM、IPT、IPN、および IDW) を表示するために使用できます。Autodesk Inventor View の入手方法は 2 種類あります。
 - Autodesk Inventor とともにインストールされるバージョン。
 - Autodesk の Web サイトからダウンロード可能なスタンドアロンバージョン。最新情報はオートデスク ウェブサイトをご覧ください。この

バージョンは、既に Autodesk Inventor がインストールされているコンピュータでは使用できません。

注: 詳細は、これらの製品のオンライン ヘルプを参照してください。

アクティベーション

Autodesk Inventor のアクティベーション: よくある質問(FAQ)

Web 上で Autodesk Inventor をどのように登録およびアクティブ化しますか?

Autodesk 製品アクティベーション ページに移動します。

インターネットにアクセスできない場合や、別の方法で登録したい場合は、次のいずれかの方法で Autodesk Inventor を登録しアクティブ化できます。

電子メール

登録情報を使用して電子メール メッセージを作成し、Autodesk に送信します。

Fax または郵送

登録情報を入力し、Fax か郵送で Autodesk に送ります。

関連事項:

- [Autodesk ネットワーク ライセンス アクティベーション ユーティリティ](#) を使用してネットワーク環境で Autodesk Inventor を使用する (19 ページ)

シングルユーザ用のアクティベーション

ライセンス タイプ

ライセンスには、いくつかのバージョンがあります。コマーシャル製品、学生版、教育機関限定製品、非売品です。

Autodesk Inventor LT のライセンスには、次の特徴があります。

- インストール直後は、シングルユーザ用の体験版として起動します。顧客は、インストールするときに体験版として試用するか、またはネットワークライセンスを選択する必要があります。体験版をライセンスコピーに変換する許可は、実行時に行われます。ライセンスプロセス中にシリアル番号を入力します。
- 試用モードでも、製品のすべての機能が使用できます。
- 製品の登録は 30 日間の体験期間内に行う必要があります。
- 製品の登録は、必要に応じて行ってください。製品が登録されていないと、30 日後に製品を使用できなくなります。
- 登録の内容が[Autodesk Inventor バージョン情報]ダイアログ ボックスに表示されます。

登録の手順は次のとおりです。

- 1 Autodesk Inventor のメディアをドライブに挿入し、インストレーションウィザードの指示に従ってインストールを開始します。
- 2 画面の指示に従って、製品のシリアル番号を入力します。オートデスクへのアクティベーション コードの要求が生成されます。
- 3 Autodesk 製品登録ページに移動し、要求コードを送信します。サーバにすぐに接続できない場合は、しばらく時間をおいてからアクセスをお試しください。日中のピーク時には、インターネットへのアクセスが集中し、接続しにくくなることがあります。
- 4 製品を登録すると、一意のアクティベーション コードが発行されます。
- 5 アクティベーション コードの入力を求められたら、取得したコードを入力してインストールを完了します。

関連事項:

- [スタンドアロン ライセンスとネットワーク ライセンスの違い \(19 ページ\)](#)
- [ネットワーク ライセンスを使用する利点 \(20 ページ\)](#)

スタンドアロン ライセンスとネットワーク ライセンスの違い

スタンドアロン ライセンスによる製品は、個々のワークステーション上で登録およびアクティベーションを行います。ソフトウェアは複数のコンピュータにインストールしてもかまいませんが、一度に実行可能なコンピュータは1つだけです。ライセンスが別のシステムに転送されている場合は、ポータブル ライセンス ユーティリティを使用できます。より多くのシステムで実行するには、より多くのスタンドアロン ライセンス製品を購入するか、ネットワーク ライセンスへの変換を検討します。

ネットワーク ライセンスによる製品では、Network License Manager によってソフトウェア ライセンスを追跡管理します。ソフトウェアは、複数のシステム上にインストールし、ライセンスの購入数を上限として、実行することができます。Network License Manager は、ライセンスがすべて使用状態になるまで「チェックアウト」します。ライセンスが「チェックイン」されるまで、それ以上のシステムはプログラムを実行できません。より多くのシステムで実行するには、Network License Manager で管理するライセンスを追加購入します。

関連事項:

- [ネットワーク ライセンスを使用する利点](#) (20 ページ)
- [ライセンス タイプ](#) (17 ページ)

ネットワーク アクティベーション

Autodesk ネットワーク ライセンス アクティベーション ユーティリティを使用してネットワーク環境で Autodesk Inventor を使用する

ネットワーク上で Autodesk Inventor をアクティブ化するには、ネットワーク ライセンス アクティベーション ユーティリティを使用します。このユーティリティにアクセスするには、Network License Manager をインストールする必要があります。Autodesk Network License Manager のインストール方法および使

用方法の詳細については、『ネットワーク ライセンス ガイド』を参照してください。

ネットワーク ライセンス アクティベーション ユーティリティ

[Network License Manager]プログラム グループで、[ネットワーク ライセンス アクティベーション ユーティリティ]をクリックし、該当するアクティベーション実行可能ファイルを選択します。すべての Inventor プログラム アクティベーション実行可能ファイルが使用可能ですが、有効なシリアル番号を取得している実行可能ファイルのみをアクティブ化できます。

配置プロセスでは、CAD 管理者は配置プロセスを完了した後、製品をオンライン(またはオフライン)で登録できます(オプション)。詳細については、『ネットワーク管理者用ガイド』の「製品を登録する」のセクションを参照してください。

ネットワーク ライセンスの設定

ネットワーク ライセンスのインストールのために最初にサーバパスを指定すると、サーバパスの設定を必要とする他のすべての製品がその値を継承します。これによって、1つの製品のネットワーク サーバを指定して、他のすべての製品にその設定を継承させることができます。それ以降、他の製品に対してサーバパスを設定した場合、その製品のみに影響します。

たとえば、製品 A に対してネットワーク インストールパスを指定すると、その他の製品はすべて、製品 A のパス設定を継承します。製品 B に移って、そのネットワーク インストールパスの設定を変更しても、その設定は製品 B にのみ適用され、他の製品には影響しません。

ネットワーク ライセンスを使用する利点

大規模な設計またはデザインを行う施設、クラス、研究室の環境では、製品のネットワーク ライセンスを取得することをお勧めします。購入したライセンス数よりも多数のシステムに製品をインストールできるという点は、大きなメリットです(たとえば、25 ライセンスを購入しても、40 ワークステーションにインストールすることが可能です)。一度に実行できる製品の数は、ライセンスのあるシステム数までです。本当の意味でフローティング ライセンスを使用できるということです。ソフトウェアをより多くのシステムで実行する必要がある場合は、ライセンスを追加購入します。

登録やアクティベーションは一度だけで、ライセンスはネットワーク ライセンス サーバ上で管理されます。

関連事項:

- [スタンドアロン ライセンスとネットワーク ライセンスの違い](#) (19 ページ)
- [ライセンス タイプ](#) (17 ページ)

ネットワーク インストール

スクリプトを使用してインストールする

スクリプト ファイルを使用すると、サーバから多数のクライアント コンピュータに Autodesk Inventor をインストールできます。その場合、インストール オプションを指定し、自動処理でインストールを実行します。

推奨するスクリプト形式:

```
UNC%Setup.exe /t /q /c INVENTOR: PROPERTY=VALUE
```

UNC は Autodesk Inventor インストール プログラムのパス、PROPERTY は Autodesk Inventor の管理インストール プロパティ、VALUE は該当するいずれかの値です。

この形式を使用することにより、必要な Autodesk Inventor サポート ソフトウェアがインストールされます。

Autodesk Inventor では、必要に応じて以下のものが含まれます。

- .NET framework version 2.0
- 更新された Windows インストーラ

サンプルの .bat ファイル(Autodesk Inventor の Setup.exe をこのファイルにドラッグする)

```
%1 SERIALPREFIX=340 SERIALSUFFIX=00000000 ADSK_SILENT_LICENSE=YES /pr
```

| プロパティ | 値 |
|------------------|----------------|
| ALLOWDRAWINGEDIT | 1(有効)または 0(無効) |

| | |
|--------------------|---|
| CONTENTLIBRARYEDIT | 1(有効)または 0(無効) |
| DRAWINGSTANDARD | ANSI、ISO、GOST、DIN、JIS、GB、BSI のいずれか |
| INSTALLLEVEL | 3 (最小) または 5 (完全) - 既定は、最小値です。 |
| INSTALLDIR | "C:\Program Files [(x86)]\Autodesk" システムで有効なインストール先に値を変更できます。 |
| ACADSERIALPREFIX | 000 |
| ACADSERIALNUMBER | 00000000 |
| ACADFIRSTNAME | 名 |
| ACADLASTNAME | 姓 |
| ACADORGANIZATION | 会社名 |
| LICENSETYPE | stand-alone または NETWORK(大文字と小文字は区別されます) |
| UNITS | INCH または MM (大文字と小文字は区別されます) |

スクリプトの例:

```
C:\Autodesk\Setup.exe /t /q /c INVENTOR: NSTALLDIR="C:\Program Files\Autodesk\  
ACADSERIALPREFIX=400 ACADSERIALNUMBER=00000000 ACADFIRSTNAME=autodesk  
ACADLASTNAME=inc ACADORGANIZATION="autodesk Inc." InstallLevel=5
```

オプションの設定-アプリケーションオプションの設定

それぞれのアプリケーション オプション設定によってどのような違いがありますか?

オプション 1: 既定の *Inventor* 設定を使用したい。

[アプリケーション オプション]の既定の設定がインストールされます。

オプション 2: *AutoCAD* と密接な関係のある設定を使用したい。

このオプションによって、AutoCAD 製品と同じような使い勝手が得られます。さらに、ヘルプ ホーム ページから Autodesk Inventor の使用開始に役立つヘルプトピックにすばやくアクセスできるように設定されます。移行をサポートし、短期間のうちに操作方法を習得できるよう、専用のモジュールが用意されています。

アプリケーション オプションのカスタム設定はどのように作成すればよいですか？

Autodesk Inventor の[アプリケーション オプション]ダイアログ ボックスで、ユーザおよび会社のレベルでの要求に合わせて既定の設定を変更します。アプリケーションオプションの設定が終了したら、[エクスポート]ボタンをクリックして、.xml ファイルにカスタム設定を保存します。

アプリケーションのオプション、カスタマイズ、およびリボンのカスタマイズ設定にはどのような違いがありますか？

- アプリケーションオプションの設定では、Autodesk Inventor の操作の動作に関するオプションを設定できます。
- カスタマイズの設定では、作業環境をカスタマイズすることができます。これには、キーボードショートカットのカスタマイズや、既定のショートカットの変更などがあります。
- リボンのカスタマイズ設定では、リボンの各タブでカスタムのユーザ定義パネルを作成できます。ユーザ定義タブは、[ユーザ コマンド]パネルに表示されます。[ユーザ コマンド]パネルは、先にカスタム パネルを作成しているときに作成されます。

注: インストーラの配置ウィザードでのみ利用できます。

関連事項:

- [基本設定 - パーツの修正](#) (11 ページ)
- [基本設定 - 計測単位](#) (12 ページ)
- [基本設定 - デスクトップ ショートカット](#) (13 ページ)
- [基本設定](#) (10 ページ)

オプションの設定 - カスタマイズ設定

作業環境をカスタマイズしてから、カスタマイズ設定を xml ファイルに保存できます。

それぞれのカスタマイズ設定にはどのような違いがありますか？

オプション 1: 既定の *Inventor* 設定を使用したい。

Autodesk Inventor ユーザ インタフェースの既定の設定がインストールされません。

オプション 2: カスタム設定をインポートしたい。

[ユーザ コマンドをカスタマイズ]ダイアログ ボックスで作成された xml ファイルからの、カスタマイズされた作業環境設定をインポートします。[カスタマイズ]ダイアログボックスにアクセスするには、[ツール]タブの[オプション]パネルから[カスタマイズ]を選択します。

注: インストーラの配置ウィザードでのみ利用できます。

オプションの設定 - リボンのカスタマイズ設定

リボンのカスタマイズ設定を行うとどのような影響がありますか？

このオプションは、Autodesk Inventor でのリボンの表示をコントロールします。

注: Autodesk Inventor のユーザ インタフェースでは、メニューおよびパネルバーに配置されたリボンからコマンドにアクセスできます。

それぞれのリボンのカスタマイズ設定にはどのような違いがありますか？

オプション 1: 既定の *Inventor* 設定を使用したい。

リボンのユーザ インタフェースの既定の設定がインストールされます。

オプション 2: カスタム設定をインポートしたい。

[ユーザ コマンドをカスタマイズ]ダイアログ ボックスで作成された xml ファイルからカスタマイズされたリボンの設定がインポートされます。[ユーザ コマンドをカスタマイズ]ダイアログ ボックスは、リボン内のコマンドを右クリックして、[ユーザ コマンドをカスタマイズ]を右クリック メニューから選択することで開くことができます。

注: インストーラの配置ウィザードでのみ利用できます。

追加のファイル

[追加ファイルのインストール]ページで[参照]をクリックすると、配置に追加するファイルを指定できます。既定では、これらのファイルは、配置の実行時にクライアントワークステーション上のプログラムのインストールフォルダ内にインストールされます。必要に応じて、複数のフォルダにファイルをインストールすることもできます。

次の操作を実行できます。

- 配置に追加するファイルを指定する。
- 異なるタイプのファイルを別々のワークステーションフォルダにインストールする。
- インストールフォルダの下にサブフォルダを追加する。
- プログラムファイルと同じ場所にファイルを追加する (たとえば、プロジェクトのサンプル図面を追加する)。
- インストールフォルダのルートにファイルを追加する。

注: これらのファイルはプログラムのフォルダ構造内の場所にインストールすることをお勧めします。インストール済みのプログラムファイルと同じ名前のファイルをインストールすることはできません。

追加のファイルをインストールするには

- 1 配置の作成時に、[その他のファイルをインストール]ページで、ファイルのインストール場所を設定します。
- 2 次のいずれかを実行します。
 - [参照] をクリックして、[ファイル追加]ダイアログ ボックスを開きます。ここで、インストールフォルダに追加するファイルを選択できます。
 - [フォルダ追加]をクリックして、インストールフォルダ内にフォルダを作成します。

- [ドライブ追加]をクリックして、インストレーションフォルダ内にドライブ名を作成します。
- [削除]をクリックして、ファイル、フォルダ、またはドライブをインストール フォルダから削除します。

3 [次へ]をクリックします。

ライセンス タイムアウト、ライセンス借用、およびネットワーク接続

ネットワーク ライセンスを指定されたタイムアウト期間の管理下におくには、オプションファイルを設定します。ライセンス タイムアウト フィーチャ機能をネットワーク接続要件(ハートビート)と混同しないようにしましょう。

ライセンス タイムアウト機能

- オプション ファイルで、ネットワーク ライセンスのタイムアウト期間を設定できます。設定する場合、タイムアウト期間は最短 15 分ですが、延長できます。
- タイムアウト期間中にクライアント コンピュータで Autodesk Inventor またはアドイン機能が検出されないと、ライセンスは他のユーザが使用できるようにネットワーク ライセンス サーバに送信されます。
 - ライセンスがサーバに送信されると、Autodesk Inventor の使用が再開された際に、クライアントはサーバからライセンスを取得しようと試みます。
- Inventor の使用の再開後、ライセンスが 30 分取得されないと、Inventor がシャットダウンするまで 90 分しか残っていないことを警告するメッセージが表示されます。クライアントは入手可能なライセンスの検索を続け、ライセンスを取得した場合は通知します。ライセンスが取得されないと、Inventor がシャットダウンするまでに残っている時間を指定するために、クライアント上に別の警告メッセージが表示されます。
- ライセンスが 90 分間の最後まで取得されないと、Inventor はシャットダウンします。作業は保存できますが、Inventor が閉じるまで他のフィーチャは使用できません。

ネットワーク接続要件(ハートビート)

- クライアント コンピュータは、ライセンス サーバがライセンスの状態を監視できるように、ネットワークに接続される必要があります。
- ライセンスを取得するには、Inventor が起動する前に、クライアントはネットワークに接続される必要があります。
- クライアントがライセンスを所有しているときにネットワークとの接続を切断されると、サーバはライセンスを無効にします。
- ネットワーク接続が 30 分後に再設定されないと、Inventor がシャットダウンするまで90分しか残っていないことを警告するメッセージが表示されます。クライアントがネットワークに再接続されない限り、Inventor がシャットダウンするまでに残っている時間を指定するために、クライアント上に別の警告メッセージが表示されます。
- ネットワーク接続が 90 分間の最後まで再設定されないと、Inventor はシャットダウンします。作業は保存できますが、Inventor が終了するまで他のフィーチャは使用できません。

オプション ファイルはライセンス借用の設定にも使用できます。

ライセンス借用

- ネットワーク ライセンスに関するライセンス借用を設定できます。
 - クライアントは、ネットワーク ライセンス サーバからの接続を切断されている間でも、ライセンスを借用して Inventor で作業できます。
 - オプション ファイルでは、借用可能なライセンス数と、最長借用期間を定義します。また、ライセンスを借用する資格があるユーザも定義できます。
 - ユーザは[ヘルプ] ▶ [Autodesk Inventor バージョン情報] ▶ [製品情報] ▶ [ライセンスを借用]を選択して、ライセンスを借用します。
 - 借用期間が終了すると、借用中のライセンスは自動的に無効になります。ユーザは、借用期間が終了する前に、借用中のライセンスを返すことも選択できます。

詳細については、『ネットワーク ライセンス ガイド』を参照してください。

ログファイル

ネットワーク ログ ファイルには、配置を実行するすべてのワークステーションに関する情報が記録されます。このログには、ユーザ名、ワークステーション名、インストールの状態が表示されます。ステータス情報や、インストール時に発生した問題の詳細については、このファイルを参照してください。

クライアント ログ ファイルには、各ワークステーションの詳細なインストール情報が格納されます。この情報は、インストール時に発生した問題の診断に役立ちます。クライアントログは、各クライアントワークステーションの¥Temp フォルダに配置されます。

GPO の配置

Group Policy Object (GPO)を使用して、コンピュータへの配置を指定できます。詳細については、『AutoCAD ネットワーク管理者用ガイド』を参照してください。

注: ガイドの「GPO」の章の「コンピュータに配置を作成する」の下にある手順を Inventor のインストールに適用するには、次の変更が必要です。

- .msi を Inventor.msi で置換します。
- インストール前に、MSI、Netframework、VBA6、DirectX、MDAC、VCREDIST、WMF、WSE30、DWGTrueView、および OEMViewer がクライアントマシンにインストールされていることを確認します。MSIはソースメディアのルートフォルダにあります。それ以外のソフトウェアはサポートフォルダにあります。

さらに質問がある場合は、販売代理店またはオートデスクのサポート担当にお問い合わせください。

Autodesk コンテンツ センター

コンテンツ センター

コンテンツセンターは既定のライブラリで構成され、数千種類のねじ、ボルト、ナット、座金、ピンなどがあり、アセンブリに挿入できます。

注: デスクトップ コンテンツは、スタンドアロン作業環境で使用するコンテンツセンターライブラリであり、このメディアで使用できます。デスクトップコンテンツはサーバにインストールして、ネットワークで共有することができません。共有環境で作業する場合は、[標準コンテンツへのアクセスを選択]ダイアログボックスで[Vault サーバ]を選択します。サーバとコンテンツセンターのライブラリを、Autodesk Vault 2010 (Server) メディアのインストーラからインストールします。

以下に、Autodesk Inventor 製品とともにインストールできるコンテンツの一覧を示します。インストレーションウィザードの[Inventor デスクトップコンテンツ用にコンテンツセンターライブラリを選択]ウィンドウでは、既定でインストールされるライブラリのチェックボックスがオンになっています。

注: デスクトップ コンテンツ ライブラリのインストール場所を指定するには、[参照]ボタンをクリックします。

ANSI 規格のコンテンツ センター ライブラリ ANSI の締結、軸部品、鋼鉄の形状など

DIN 規格のコンテンツ センター ライブラリ DIN の締結、軸部品、鋼鉄の形状など

GOST 規格のコンテンツ センター ライブラリ GOST の締結、軸部品、鋼鉄の形状など

ISO 規格のコンテンツ センター ライブラリ ISO の締結、軸部品、鋼鉄の形状など

JIS および GB 規格のコンテンツ センター ライブラリ JIS および GB の標準部品 - 締結、軸部品、鋼鉄の形状など

| | |
|--|---|
| Feature Generator 規格のコンテンツ センター ライブラリ | メートルおよびインペリアル単位による一般フィーチャ |
| その他規格のコンテンツ センター ライブラリ | AFNOR、AS、BSI、CNS、CSN、GOST、IS、KS、PN、SFS、 SS、STN、UNI の標準部品 |
| Parker 規格のコンテンツ センター ライブラリ | チューブパイプ継手用に Parker Hannifin が提供する標準コン テンツ(Autodesk Inventor Professional および Autodesk Inventor Routed Systems のみ) |
| ルーティング システム規格のコンテ ンツ センター ライブラリ | ケーブルハーネスおよびチューブ & パイプ パーツの標準コン テンツ(Autodesk Inventor Professional および Autodesk Inventor Routed Systems のみ) |
| シートメタル規格のコンテンツ セン ター ライブラリ | シートメタルパーツの標準コンテンツ |

関連事項:

- [Autodesk Inventor コンテンツ センターをインストールする \(30 ページ\)](#)
- [インストールを再設定する \(31 ページ\)](#)

Autodesk Inventor コンテンツ センターをインストールする

Autodesk Inventor によって、デスクトップ コンテンツ(単独のコンピュータ用のコンテンツ センター ライブラリ)がインストールされます。コンテンツ センター ライブラリをインストールする前に、各企業に最適なインストール パターンを決定します。共有の Vault サーバ上にコンテンツ センター ライブラリをインストールすることで企業のニーズに対応できるかどうかを検討してください。Vault サーバにインストールされたコンテンツ センター ライブラリは、各自のローカル コンピュータで Autodesk Inventor 2010 を実行中のユーザ間で共有できます。この方法は、カスタム ライブラリの作成が必要なプロジェクトの作業で特に役立ちます。これにより、ローカル コンピュータ上に必要とされる空き容量が最小限に抑えられます。

また、スタンドアロン ユーザの場合は、Autodesk Inventor 2010 のコンテンツセンター ライブラリ(デスクトップ コンテンツ)をローカル コンピュータにインストールできます。

インストール

コンテンツセンター ライブラリのインストールおよびローカル コンピュータまたはリモート サーバ上での設定方法は、インストール時に指定するインストールの種類オプションによって異なります。

スタンドアロン ユーザの場合は、[コンテンツセンターのアクセス オプションを選択]ウィンドウで[Inventor デスクトップ コンテンツ]を選択します。このオプションでは、コンテンツセンターのライブラリが、ローカル ドライブにインストールされます。

インストレーション ウィザードの[Inventor デスクトップ コンテンツ用にコンテンツセンターライブラリを選択]ウィンドウでは、既定でインストールされるライブラリのチェック ボックスがオンになっています。

注: デスクトップ コンテンツ ライブラリのインストール場所を指定するには、[参照]ボタンをクリックします。

共有作業グループ環境で作業している場合、[コンテンツセンターのアクセス オプションを選択]ダイアログ ボックスで[Autodesk Vault サーバ]オプションを選択します。このオプションは、中央のサーバに Vault サーバとコンテンツセンターライブラリをインストールする場合に使用します。Vault サーバとコンテンツセンターのライブラリを、Autodesk Vault 2010 (Server) メディアのインストーラからインストールします。

関連事項:

- [コンテンツセンター](#) (29 ページ)
- [インストールを再設定する](#) (31 ページ)

インストールを再設定する

インストール後に既定のライブラリを追加するには、Autodesk Inventor のインストレーション ウィザードを使用します。

- [インストールする製品を選択]ダイアログボックスで、[コンテンツセンターライブラリ]の横のチェック ボックスをオンにします。

- [コンテンツ センター ライブラリ]ダイアログ ボックスで、インストールするライブラリの横のチェック ボックスをオンにします。

よくある質問

プロダクト キーとシリアル番号はどこにありますか？

製品のプロダクト キーとシリアル番号は、製品パッケージの外側に記載されています。製品をダウンロードした場合は、送信された電子メール メッセージに記載されています。

部品番号は、3つの連続する数字で示されています。製品とバージョンは、最初の5桁で定義されています。これら5桁の文字はインストールによって解析され、プロダクト キーとして格納されます。最初の3桁によって製品が特定されます。4桁目と5桁目によって製品バージョンが特定されます。

注: シリアル番号やプロダクト キーを紛失した場合は、ユーザ登録センター (03-6221-1790)までご連絡ください。

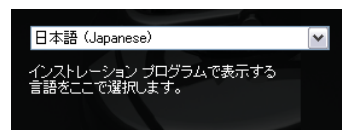
個々の製品に対する[言語を選択]の意味は？

配置指示用の各言語と、製品インストール用の言語を選択することができます。

たとえば、を母言語以外の1つ以上の言語でユーザに提供する必要がある場合、サポートする必要がある言語で製品を配置するための言語パッケージを、インストーラからダウンロードすることが可能です。

注: 言語パッケージを管理イメージに取り込めるのは、配置の作成中のみです。修正中は取り込めません。

オペレーティングシステム言語は、インストーラにより自動的に判別されます。その言語を変更したい場合は、インストレーション ウィザードの最初のページにあるインストーラ言語リストから別の言語を選択することができます。



[インストールする製品を選択]ページで[個々の製品の言語を選択]チェックボックスをクリックし、ドロップダウンリストから言語を選択して、個々の製品の言語を選択することができます。

インストールする製品を選択

製品の言語を個別に選択

Autodesk Inventor 2010

3D 設計/エンジニアリング アプリケーション。
インストールする Inventor 製品は、プロダクトキーに応じて指定されます。
Autodesk Inventor 2010 は既にインストールされています。

コンテンツ センター ライブラリ:

デスクトップ コンテンツ オプションで使用する標準部品および機械要素ライブラリ。

Autodesk Design Review 2010 Beta

ビュー、マークアップ、および承認用のツール。

注: 製品によっては製品リリース時点では多国語がサポートされないものもあります。後日になってから、追加の言語サポートが提供されることがあります。追加の言語パッケージの提供予定については、<http://www.autodesk.co.jp/support> を参照してください。

アイコン カラー テーマによって Inventor で何が変更されますか?

アイコン カラー テーマによって、リボン、クイック アクセス ツールバー、およびナビゲーション バー内のコマンドの色が、以下のいずれかのカラー テーマに変わります。

[黄色のテーマ]



[コバルト色のテーマ]



[アプリケーション オプション] ダイアログ ボックスの [色] タブにある [カラー テーマ] の設定にアクセスします。

気が変わった場合、後で自分のアイコンカラーテーマを変更することはできますか

Inventor での自分のアイコンカラーテーマは、[アプリケーションオプション] ダイアログ ボックスの[色]タブで変更できます。

[黄色のテーマ]



[コバルト色のテーマ]



製品マニュアル

Autodesk 製品のマニュアルは、PDF と CHM の 2 つの形式で配布されます。

インストール関連の PDF ファイルは、インストール時に使用可能になります。インストーラで[ドキュメンテーション]リンクをクリックするとアクセスできます。CHM ファイルは、製品のインストール後に使用可能になります。製品内のヘルプシステムを使用してアクセスします。PDF の製品マニュアルは、Program Files¥Autodesk¥Inventor 2010¥Help フォルダにもコピーされます。

修復/再インストール/アンインストール: よくある質問(FAQ)

製品の修復を試みるよりも再インストールする方が望ましいのは、どのような場合ですか?

プログラムに必要なファイルを間違えて削除または変更した場合は、製品を再インストールします。ファイルがなかったり変更されると、製品のパフォーマンスが低下し、コマンドを実行したりファイルを検索しようとする、エラーメッセージが表示されます。

インストールを修復しようとして失敗した場合は、再インストールをお勧めします。

インストールを修復した後、自分が行った設定を復元できますか？

プログラムのインストールを修復する必要がある場合は、カスタム設定をエクスポートし、後で同じシステムに再びインポートすることができます。

ソフトウェアをアンインストールすると、システムにどのようなファイルが残りますか？

ソフトウェアをアンインストールすると、ユーザが作成または編集したファイルなど、一部のファイルが残ります。

製品をアンインストールしたときに、ライセンス ファイルもワークステーションに残ります。同じワークステーションに再インストールする場合、ライセンス情報は有効なまま残っているため、製品を再びアクティブにする必要はありません。

機能の追加または削除: よくある質問(FAQ)

機能を追加または削除する場合、インストール済みの機能はどのように見分けられますか？

インストール済みの機能を確認するには、[機能の追加または削除]ページで[既定の復元]ボタンをクリックします。

機能の追加または削除を行うときに、インストール フォルダを変更することはできますか？

いいえ。製品のインストール後に、[機能の追加または削除]ページでインストールパスを変更することはできません。機能を追加するときにパスを変更すると、プログラムに不具合が発生する可能性があるからです。

機能を追加または削除した後、製品を再びアクティブにする必要がありますか？

フィーチャを追加したり削除しても、ライセンス ファイルがワークステーション上に保持されるので、ライセンス情報は有効な状態のままです。製品を再アクティブ化する必要はありません。

ツールとユーティリティ: よくある質問(FAQ)

ツールとユーティリティをインストールするときに、マルチシート スタンドアロン インストールには何を選択するとよいですか？

マルチシート スタンドアロンライセンス製品では、ライセンス サーバがライセンスを管理またはアクティブ化しないため、役に立つツールは Autodesk CAD Manager ツールだけです。

CAD マネージャ チャンネルを変更するには、CAD Manager ツールが必要です。

ツールとユーティリティをインストールするときに、スタンドアロンインストールには何を選択するとよいですか？

スタンドアロンライセンス製品に役に立つのは Autodesk CAD Manager ツールだけです。CAD Manager ツールを使用すると、CAD マネージャ チャンネルを変更できます。

スタンドアロンライセンスとネットワークライセンスにはどのような違いがありますか。

スタンドアロンライセンスによる製品は、個々のワークステーション上で登録およびアクティベーションを行います。ソフトウェアは複数のコンピュータにインストールしてもかまいませんが、一度に実行可能なコンピュータは 1 つだけです。より多くのシステムで実行するには、より多くのスタンドアロンライセンス製品を購入するか、ネットワークライセンスへの変換を検討します。

ネットワークライセンスによる製品では、Network License Manager によってソフトウェアライセンスを追跡管理します。ソフトウェアは、複数のシステム上にインストールし、ライセンスの購入数を上限として、実行することができます。Network License Manager は、ライセンスがすべて使用状態になるまで「チェックアウト」します。ライセンスが「チェックイン」されるまで、それ以上のシステムはプログラムを実行できません。稼働可能なシステムを増やすには、Network License Manager で管理されるライセンスを別途に購入します。

または、ライセンス管理にサーバを利用しない複数アカウントのスタンドアロンライセンスバージョンを使用することができます。複数アカウントのスタンドアロンライセンスとは、製品の各インストールで登録とアクティブ化に 1 つのシリアル番号を使用するものです。

ソフトウェアのネットワーク ライセンス バージョンを使用することにはどのような利点がありますか？

大規模な設計またはデザインを行う施設、クラス、研究室の環境では、製品のネットワーク ライセンスを取得することをお勧めします。購入したライセンス数よりも多数のシステムに製品をインストールできるという点は、大きなメリットです(たとえば、25 ライセンスを購入しても、40 ワークステーションにインストールすることが可能です)。一度に実行できる製品の数は、ライセンスのあるシステム数までです。本当の意味でフローティング ライセンスを使用できるということです。ソフトウェアをより多くのシステムで実行する必要がある場合は、追加のライセンスを購入してください。

登録やアクティベーションは一度だけで、ライセンスはネットワーク ライセンス サーバ上で管理されます。

複数アカウントのスタンドアロン ライセンスは、ライセンスが許可している範囲で最大数のシステムにインストールできます。たとえば、25 アカウントの複数シート スタンドアロン ライセンスを購入し、設計拠点にはインターネット経由で通信可能な 30 システムがあるとします。ソフトウェアを 30 システムすべてにインストールしたとしても、ライセンスがアクティブ化されるのは、最初に起動した 25 システムだけに限られます。ライセンスは特定のシステムのそれぞれに関連付けられるため、残りの 5 システムでは、別途に 5 ライセンスを購入しない限りソフトウェアを実行できません。

すべてのシステムがインターネットへアクセス可能であれば、製品が最初の起動時に自動的にアクティブ化されます。

マイグレーション - 製品設定

Autodesk Inventor の旧バージョンでカスタマイズしたファイルを、Autodesk Inventor 2010 にインポートすることができます。ただし、Autodesk Inventor 2010 ではショートカットが変更されているため、旧バージョンのキーの割り当ての中にはサポートされなくなったものもあります。

詳細については、Autodesk Inventor 2010 のオンライン ヘルプ システムにある「カスタムショートカットキー」および「カスタマイズ-[キーボード]タブ」を参照してください。

Service Pack: よくある質問(FAQ)

どこで Service Pack をチェックしますか?

Service Pack が提供されているかどうかを確認するには、オートデスクの製品サポート ページを参照してください。

追加または結合を行うとどうなりますか?

Service Pack を追加する場合、その Service Pack は現在の配置のみに適用されます。1 つの配置に複数の Service Pack が追加されることもあります。Service Pack ファイルは配置に含まれており、製品が配置された後で Service Pack が適用されます。

Service Pack を結合すると、Service Pack は管理イメージに結合されます。結合後は、管理イメージから Service Pack を削除できないこともあります。1 つの管理イメージに複数の Service Pack が含まれることもあります。

配置の作成時に、[Service Pack を含める] ページで、Service Pack を追加または結合するように選択できます。

管理イメージ MSI ファイルとは?

管理イメージとは、配置処理中に作成された共用ファイル リソースを収集したものです。配置でプログラムをネットワーク ワークステーションにインストールする際に使用されます。配置の作成時に、Service Pack (パッチ) を管理イメージに適用することができます。 .msi ファイルとは、Microsoft インストーラ ファイルのことです。

情報センター: よくある質問(FAQ)

情報チャンネルについて

情報センターのコミュニケーション センター コンポーネントを使用すると、さまざまな情報チャンネルから情報を受け取ることができます。情報チャンネルを通じて取得できる情報は、次のとおりです。

- 製品サポート情報(メンテナンス パッチ情報を含む)。
- Subscription センター情報と Subscription プログラム ニュース、および e-Learning レッスンへのリンク(Autodesk Subscription メンバーの場合)。
- Autodesk の Web サイトに投稿された新しい記事やヒントの情報。

CAD マネージャ チャンネルの利点

CAD マネージャ チャンネルを使用すると、指定したフィードの場所から、インターネットベースのコンテンツや情報フィードにアクセスできるようになります。

RSS フィードとその利点

RSS フィードとは、Web サイトを購読設定して開始されるライブリンクのことです。購読設定による主な利点は、最新のコンテンツ ストリームが、記事の要約、フォーラム スレッド、ブログの投稿などの形で、お使いのシステムに定期的に配信されることです。RSS とは、Rich Site Summary(または Really Simple Syndication)の略です。

オンラインリソース: よくある質問(FAQ)

オンライン リソースの設定は後で変更できますか?

はい。製品をインストールした後にオンライン リソースの状態を変更する場合は、CAD マネージャ コントロール ユーティリティを使用します。

Subscription センターとは?

Subscription センターでは、オートデスクの Subscription メンバーに対して、e-Learning(マイペースで学習できるインタラクティブなレッスン)や Web でのサポート(ユーザがオートデスクのサポート スタッフに技術的な質問をオンラインで送信可能)が提供されます。

Subscription リソースへのアクセス権限を持つユーザが、[ヘルプ]メニューの [Subscription リソース]をクリックしてそれらにアクセスできるように指定することができます。アクセス権のないユーザでも、[ヘルプ]メニューの同じオプションを使用することで Subscription リソースについて学ぶことができます。Subscription センターへのアクセスは、CAD マネージャ コントロール ユーティリティから有効または無効にすることもできます。

索引

A

- ANSI 規格
 - コンテンツ センター ライブラリ 30
- Autodesk Inventor
 - アクティブ化 17
 - インストール 6
 - システム要件 4
 - ビューア 17
 - ライセンス 19
- Autodesk Network License Manager 20

C

- CAD マネージャ コントロール ユーティリティ
 - FAQ 36
- CAD マネージャ チャンネル 39

D

- DIN 規格
 - コンテンツ センター ライブラリ 30

F

- Feature Generator 規格のコンテンツ センター ライブラリ 30

G

- GB コンテンツ センター ライブラリ 30
- GOST 規格のコンテンツ ライブラリ 30
- GPO (Group Policy Objects) 29
- Group Policy Objects (GPO) 29

I

- Inventor
 - アクティブ化 17
 - インストール 6
 - システム要件 4
 - ビューア 17
 - ライセンス 19
- Inventor でのアイコン カラー テーマ 34
- ISO 規格
 - コンテンツ センター ライブラリ 30

J

- JIS コンテンツ センター ライブラリ 30

M

- MSI ファイル 38

N

- Network License Manager のユーティリティ 20

P

- Parker コンテンツ センター ライブラリ 30

R

- Routed システムの標準コンテンツ ライブラリ 30
- RSS フィード 39

S

- Service Pack 38
- Service Pack を適用する 38
- Subscription センター 39

あ

- アクティブにする
 - ライセンス 19-20
- アプリケーション オプション 24-25
 - カスタマイズ 24
- アプリケーションのアンインストール 16, 35
- アプリケーションの再インストール 16, 35

い

- インストール
 - Autodesk Inventor 6
 - Service Pack 38
 - アンインストールする 35
 - インストールパス 15
 - インストールの再設定 16
 - インストールを変更する 35
 - インストーション ウィザード 4, 10
 - オンライン リソース 39
 - コンテンツ センター 30-31
 - シリアル番号 32
 - スクリプトと 22
 - スタンドアロン インストール 4
 - スタンドアロン ライセンス 2
 - ツールとユーティリティ 36
 - ネットワーク インストール 22
 - 移行 38
 - 基本設定 11
 - 再インストール 35
 - 修復する 35
 - 通常インストールまたはカスタム インストール 14

- インストールの再設定 16
- インストーション ウィザード 4

お

- オペレーティング システム
 - 言語 32
- オンライン ヘルプ
 - オンライン リソース 39

か

- カスタム インストール 14

こ

- コンテンツ センター
 - インストール 31
 - インストールされるライブラリ 30
 - 再設定 32

さ

- 削除する
 - アプリケーション 16
 - オプション コンポーネント 16

し

- シート メタル規格のコンテンツ センターライブラリ 30
- システム要件 4
- シリアル番号
 - スタンドアロン インストール 32

す

- スクリプトを使用してインストールする 22
- スタンドアロン ライセンス 19

そ

ソフトウェア パッチ
インストール 38

た

タイムアウト(ライセンス) 28

ち

チャンネル(情報の更新)
FAQ 39

つ

ツール
インストール 36
ツールの表示
ビューア 17

て

ディスク容量を空ける 16
デスクトップ ショートカット 13
デスクトップ上のショートカット 13

ね

ネットワーク
アプリケーション オプション設定 24
ネットワーク インストール
GPO と 29
アプリケーション オプション 24-25
スクリプト 22
スタンドアロン ライセンス 22
ログ ファイル 28
追加のファイル 26
ネットワーク ライセンス
アクティブにする 20
借用 28

設定 20
説明 19
利点 21

は

パーツ
修正の設定 12
ハードディスク容量 16
ハートビート(ライセンス) 28
パス
インストール パス 15
パッチ
Service Pack 38
バッチ ネットワーク インストール 22

ま

マイグレーション
FAQ 38
マニュアル 34

ゆ

ユーザ基本設定 11
ユーティリティ 36

ら

ライセンス
借用 28
スタンドアロン 19
タイムアウト 28
ネットワーク 19-21, 28
種類 19
ライセンスの借用 28
ライブラリ
コンテンツ センター ライブラリ 30

ろ

ログファイル
ネットワーク インストール 28